

2 学年通信

新宮町立新宮東中学校
令和8年3月18日 第101号
文責:江頭 俊輔

[総合的な学習の時間 進路学習 stage 3 進路の情報をつかもう!]

3月4日(火)、6日(木)の総合的な学習の時間に進路学習 stage 3と題して、高校進学についての情報を確認しました。18年前に江頭が高校受検をしたときと、今と比較しても大きな変更があるので、是非、保護者の方にも学んだことを伝えて、ご家庭でも進路の話題で家族団らんを楽しんでほしいです。

[高校入試の形式!私立と公立で異なります!]

実際に保護者の方に進路の情報を一括してお伝えするのは、次年度6月下旬に予定している第1回進路説明会(現段階では6月26日【金】に予定しています。)となります。実際、次年度、新たに変更となる可能性もありますが、入試形式等、変更がなさそうな部分を実際を使用したスライドをもとに、お伝えします。

私立高校には大きく3回の入試があります。特徴をお伝えします。

専願入試	1月中旬~下旬。私立高校が「第一志望校」の人が受ける入試。合格した場合は、その高校に必ず入学することが前提。
前期入試	専願入試後。公立高校が「第一志望校」の人が受ける入試。後期入試は実施している高校としていない高校があるため、前期入試で「合格する可能性の高い私立」を受験する。 ※公立も不合格・私立前期の不合格とならないようにしたい。
後期入試	前期入試後。ほとんどの私立高校は専願・前期入試で定員を埋めている可能性が高いので、後期入試を実施していない高校もあることに注意。

公立高校には大きく3種類の入試があります。特徴をお伝えします。

特色化選抜	実施している高校とそうでない高校がある。各校のHPで確認できる。各高校が出している実施要項に記載されている「調査書の評定」と「面接」で内定が決まる。自己推薦の意味合いが強く、希望すれば受検をすることができる。
推薦入試	実施している高校とそうでない高校がある。各校のHPで確認できる。中学校の校長先生が推薦した生徒のみ受検できる。各高校が出している実施要項に合う生徒であり、かつ、新宮東中学校を代表して受検する生徒であることが求められる。試験内容は面接と作文であることが多く、各高校によって異なる。
一般入試	5教科の入試問題(学力検査)を受検する。合格の決定の仕方は以下で解説。

公立高校の一般入試での合格までの流れは右図で解説されます。大きく「調査書」と「学力検査」の2つで合否を決定します。A群とB群に分け、調査書の内容に支障がなければA群は合格、B群は調査書の内容を総合的に判断して、合格を判断します。調査書の5段階評価に関しては、毎学期末に配付する通知表の5段階評価を1・2学期分総合したものと考えてもらえれば分かりやすいと思います。

